



19万人のひろば

おめでとうございます(敬称略)

- 春の叙勲
  - 【旭日小綬章】▶地方自治功労 田中利孝(米本)
  - 【瑞宝中綬章】▶総務省行政事務功労 大竹邦実(村上)
  - 【瑞宝小綬章】▶税務行政事務功労 井上一夫(八千代台西)
- 危険業務従事者叙勲
  - 【瑞宝双光章】▶防衛功労 木村秀若(米本) ▶警察功労 小林健藏(大和田新田) ▶警察功労 星野文男(八千代台東) ▶消防功労 北條幸夫(下市場)
  - 【瑞宝単光章】▶警察功労 飯川秀彦(勝田台)

小さくても手間をかけて慎重に さわやかに彩る初夏の寄せ植え

勝田台公民館で5月15日に行われた寄せ植え教室に、8人が参加しました。湿度が高い梅雨の時期に備えて、蒸れないよう根元付近の葉を慎重に落とすなど、小さな寄せ植えでもたくさんの手間をかけて作ります。ミニバラのグリーンアイスやヒューケラなど4種類の花で、初夏を感じさせるさわやかに彩る作品ができあがりました。

▶水持ちと通気性を良くするため水ゴケを根元に巻きます



郷土博物館に寄贈されて10年

正覚院「木造釈迦如来立像」の模刻像

村上の正覚院に祀られている木造釈迦如来立像。カヤ材でつくられ、高さは166cm。清涼寺式釈迦如来立像などと呼ばれます。全国で100体以上確認されていますが、県内では正覚院と茂原の永興寺、成田の大慈恩寺だけ。彫刻技術や作風から、鎌倉時代の後期につくられたものといわれます。制作時に施された、金箔を使って文様を作る伝統技法「截金」が衣の裾にわずかに残っていますが、大部分は江戸時代の補修の際に施されたもの。室町時代以降衰退したとされる技法が受け継がれていたことがわかる貴重なものです。毎年4月8日に近い「花祭り」の日にだけご開帳される秘仏。来年は県指定有形文化財になって、60周年を迎えます。

この模刻像が、八千代市仏教連合会から郷土博物館に寄贈されて10年がたちました。東京藝術大学大学院の保存修復彫刻研究室と保存修復日本画研究室が、2分の1の大きさで制作。衣の截金も約2か月かけて再現しました。模刻像は、郷土博物館の常設展示で見られます。



正覚院「木造釈迦如来立像」の模刻像

平成17年からAEDなどの機器を市内の施設に寄贈 八千代市赤十字奉仕団に感謝状を贈りました

八千代市赤十字奉仕団は、奉仕活動の一環として毎年11月にバザーを開催。その収益金で、AEDなどの機器を平成17年から福祉センターなどの市内公共施設に寄贈し続けていることから、5月15日に市から感謝状と記念品を贈りました。



▲八千代市赤十字奉仕団委員長江野澤さん(左)と服部市長

現在の団員は108人。昨年12月には創設から50周年を迎えました。いざというときのために、心肺蘇生法、AEDの使用法などを一日赤十字などのイベントや講習を通して、広く周知しています。平成30年度には、市内の学校やPTA、自治会など49団体から依頼を受けて講習を実施し、3,338人が参加しました。

平成27年から開催している七夕まつりでは、高齢者支援活動の一環として、七夕飾り作りや、ハイゼックス炊飯袋で炊いた非常時のお米の試食、リラクゼーションなど、気軽に参加できるイベントを企画しています。

これからもボランティア活動を通して、地域の活性化に貢献し、住みやすく、安心して暮らせる知識や技術を広めていきます。

かわいらしい作品に興味津津 市民ギャラリーで「こどもおうこく展」

5月1日~12日にオーエンス八千代市民ギャラリーで、こどもおうこく展が開催されました。セロファンで作られた地球儀や、チョークで描かれたかわいらしいイラストなどに子どもたちは興味津津。八千代のアーティストが作ったカブトやカラフルなかんむりなどをかぶって、記念写真を撮る親子の姿も見られました。



▲子どもたちが作った小さな街。カエルやキリンなどの動物も隠れています

また、子どもたちが紙コップやトイレットペーパーの芯などの身近な素材で作った小さな街とミニアスレチックパークには、個性あふれる建物や遊具が建ち並びました。

八千代歌壇

佐波 洋子選

春めいた今朝霧深く人々は駅にむかいて消えて行きたり  
 (八千代台北) 村田 一江

朝明けの空を雁の群れ過ぎり病室に今日の暮ひらきゆく  
 (大和田新田) 増尾 克子

桃の日に古い母を待つ上野駅越後の雪積む鈍行より降り来  
 (大和田) 坂井 ワカ

植えかえて甕にもとせし水蓮に底のめだから目ざめ群れ寄る  
 (萱田町) 吉田 仁子

学童の声響かざる春休み校庭の桜今や満開  
 (八千代台北) 水野大佳代

税務署に二時間並んでわれの番若い署員の格闘を待つ  
 (八千代台東) 伊藤 浩子

房総の新物産屋出まわれば旭の海はおだやかなりしか  
 (下市場) 村越喜美子

手におけばしみのにじみし布靴に夫の鬨病はるかな日目が  
 (村) 上 新井 豊子

気を抜きし二年の間どくだみと野蒜はびこり三回忌済む  
 (桑) 納 石上 文枝

選評 一首目、通勤の人々が朝霧の中に消えて行った様子  
 がミステリアス。「春の霧今朝たちこめて誰も誰も」等  
 参考に。二首目、病室の窓を横切る雁の群は今日という日を開  
 く幕のようだ。「今日」が切実で感性の冴えた歌。「明け」は結  
 句と重なるので「暁」「払暁」等と。三首目、下句の具体が切な  
 く懐かしさをそそる。回想なら過去形にしたい。

やちよ川柳

八千代川柳連盟選

偽装データ塩コショウませ味を出し 村 上 佐藤 昌平  
 プラゴミが世界遺産の夢やぶり 緑が丘 山本 武典  
 倍率が奮い立たせる志望校 大和田 阿部けいこ  
 円満な夫婦が自慢父と母 村上団地 成瀬 謙三  
 何もかも許したくなる木の芽時 上高野 神津真智子  
 一万歩光一万抱きに行く 高 津 長谷川みえ子  
 句いまでハラスメントになる時代 勝田台 梶田きみ子  
 ステージ4めげずに向かう手術室 勝田台 古川 大晴  
 ねばならぬ一つ減らして無洗米 八千代台北 中村 たえ  
 老いてなお怪我也恐れず草野球 村上 島村 呆眼  
 間に合った電話に出たらアンケート 八千代台南 菊池ひろ子

防災無線自動電話応答サービス  
 0120(970)911  
 24時間以内の防災無線放送の  
 無料通話  
 内容を確認できます